

2011-B					
拠出金・基金の名称:		アジア大洋州地域青少年交流事業拠出金(キズナ)			
種 別		イヤーマーク ノン・イヤーマーク			
拠出先の国際機関名: 南太平洋大学(USP)					
【所管官庁担当局課・室名】: 外務省アジア大洋州局大洋州課					
【当該任意拠出金の目的・用途等】 太平洋島嶼国14カ国・地域から青少年を日本に招聘し、地方でのホームステイ、学校交流、歴史・産業施設視察等を通じて日本への関心・理解を深める他、東日本大震災の被災地への訪問等を通じて、我が国の同震災からの復興及び日本再生に関する同諸国の理解を増進させ、また、風評被害に対して効果的な情報発信を行うことにより日本産品の信頼回復・向上等を図る。					
最近3年間の我が国支払額及びODA率					
単 位	邦 貨 (千 円)	外貨1 (千ドル)	外貨2 (千)	レ ー ト	ODA率(%)
平成23年度	259,902	-	-	円建て	100
平成22年度	-	-	-	-	-
平成21年度	-	-	-	-	-
【当該任意拠出金等の意義、成果等に関する我が国としての評価】 本件プロジェクトは、被災地域の復旧・復興に資する青少年交流との位置付けで実施されたものである。訪日経験者が少ない太平洋島嶼国の青少年を我が国に招聘し、東日本大震災の被災地の視察も織り交ぜることで、震災後の我が国の復興と再生の現状について理解を深めてもらうことができた。また、参加者は、被災地での滞在経験を通じて風評被害の深刻さを認識したとしており、この点、参加者による帰国後の我が国風評被害削減のための広報活動にも期待が持てる。また、参加者は、東京都内滞在中、防災関連施設を訪問し、また、学校等での防災教育の事例紹介や災害時の広域協力、市民ボランティアの活動事例を学ぶ機会が与えられたことで、我が国の防災に対する先進的な取り組みのみならず、その根源ともいえる「共助の文化」を学ぶことが出来たとしており、この点も本件招聘プロジェクトによる大きな成果と言える。更に、本件プログラムを通じて、太平洋島嶼国の次世代を担う青少年に対し我が国における防災に対する備えを教授できたことは、自然災害に弱い太平洋島嶼国における今後の防災意識の向上等にも大きく貢献し、ひいては同諸国の国作りの一助となることも期待される。					